

## 農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名 : 安心安全の京都・乙訓まちづくり整備計画
- 2 整備計画年度 : 平成22年度～平成24年度（3年間）
- 3 事後評価年度 : 平成25年度

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	<p>本計画の対象事業はすべて平成23年度に地域自主戦略交付金に移行したため、関連事業に位置づけしました。 よって、関連事業の進捗状況を記載します。</p>
	<p>・農地防災事業（農業用河川工作物応急対策事業）久我堰地区 計画期間内の事業内容はすべて実施しました。 平成25年度には完了予定です。</p>
	<p>・集落基盤整備事業 京都大原地区 平成23年度に計画どおり事業実施し、完了しました。</p>
	<p>・農地防災事業（ため池緊急防災対策事業）京都地区（H23） 平成23年度にため池調査を実施しました。</p>
	<p>・農地防災事業（ため池緊急防災対策事業）京都地区（H24） H24は、当整備計画エリア内でのため池調査は実施しませんでした。</p>
②事業効果の発現状況	<p>・農地防災事業（農業用河川工作物応急対策事業）久我堰地区 平成25年度に事業完了により事業効果発現予定。</p>
	<p>・集落基盤整備事業 京都大原地区 事業完了により事業効果が発現しました。</p>
	<p>・農地防災事業（ため池緊急防災対策事業）京都地区（H23・H24） ため池調査により災害リスク軽減の検証ができました。</p>
③成果目標の目標値の実現状況	<p>① 老朽化した可動ゲートや操作設備を修繕することで災害を未然に防止。 【目標値】 農地150haの湛水被害や干ばつ被害、公共施設や家屋等の災害防止 【実現状況】平成25年度に久我堰地区の事業完了により農地150haの湛水被害や干ばつ被害、公共施設や家屋等の災害防止実現予定</p>
	<p>② 農道と用排水施設を総合的に整備 【目標値】1地区で農道と用排水施設を総合的に整備し、生産基盤、生活環境の向上を図る。 【実現状況】京都大原地区事業完了により実現</p>
	<p>③ 災害リスク軽減の検証 【目標値】3地域で実施。 【実現状況】1地域で災害リスク軽減の検証を実施しました。</p>
④今後の方針	<p>整備計画年度を平成25年度～平成27年度（3年間）とする新たな計画を樹立し、今後とも農業水利施設等の更新・改善を進め、地域の安心・安全の確保、生活環境や営農保全を図ることとします。</p>